

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル： CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト： CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要

建物名称	(仮称)中央区旭町通一番町マンション 新築工事	
建設地	新潟県新潟市中央区旭町通一番町93,93-1,94	
用途地域	市街化区域	
建物用途	集合住宅	
竣工年	2018年12月 予定	
敷地面積	1,471.13 m ²	
建築面積	656.62 m ²	
延床面積	2,558.28 m ²	
階数	地上5F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2018年2月19日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{43.6}{49.8} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に 使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	2.8		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりの ために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	3.0		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・地球温暖化対策の為に、建物外皮性能向上に努めた。
- ・資源循環のために節水機器の利用を配慮した。

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中央区旭町通一番町マンション 新築工事	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市中央区旭町通一番町93-93-1.94	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	70人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年2月19日
敷地面積	1,471㎡	作成者	渡辺 邦夫
建築面積	657㎡	確認日	2018年2月19日
延床面積	2,558㎡	確認者	渡辺 邦夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 建物内部に比べ外部環境に対しては緑地などもなくあまり対策ができていないため、将来的には緑地を配備したりするように心がける。駐輪場を比較的多めに配置している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 住戸・エントランスに大きい開口を設け、昼光率が標準より良い部屋になっている。	Q2 サービス性能 専有部以外は共用部でメンテができるようになっている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 建物全体でBEE < 1.0とし、基準値未満の一次エネルギーになっている。	LR2 資源・マテリアル 節水便器を採用し、省エネを図っている	LR3 敷地外環境 駐輪場・駐車場を適度に確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される